

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回 宮崎市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和5年8月23日(水) 午後14時00分～午後15時55分
開催場所	宮崎市上下水道局4階 大会議室(宮崎市鶴島3丁目252番地)
会長氏名	鈴木 祥広
出席者氏名 (委員)	鈴木会長、中川委員、清家委員、時任委員、河野委員、深野木委員、 岩切(千)委員、岩切(典)委員、早瀬委員、工藤委員(オンライン)、 佐々木委員(計11名)
欠席者氏名 (委員)	藤崎委員、肥田木委員、清水委員、圖師委員(計4名)
事務局	下郡上下水道局長、武田管理部長、田淵水道部長、仁田脇下水道部長、大 木総務課長、高力財務課長、矢野料金課長、飯干給排水設備課長、永山水 道整備課長補佐、徳永配水管理課長、山元浄水課長、大谷営業所工務課長、 川元下水道整備課長、中野下水道施設課長、長倉財務課長補佐、徳永主幹、 池島主査、渡部主査、黒木主査、柳田主任主事
傍聴者	一般傍聴者 1名、報道関係 3名
次第	議 事 (1) みやざき水ビジョン2020施策評価の実施について (2) 令和5年度投資・財政計画ローリング結果について (3) その他

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>ただいまより、『令和5年度 第3回宮崎市上下水道事業経営審議会』を始める。</p> <p>初めに資料の確認をさせていただく。 まず、机の上の資料である。本日の【会次第】、裏面が【経営審議会委員名簿】となっている。</p> <p>続いて、事前に送付させていただいた資料 【資料1】 施策評価の方法 【資料2】 「みやざき水ビジョン2020」 施策評価用紙 1枚目が記入例、2枚目以降が提出用となっている。 【資料3】 令和5年度施策評価調書 【資料4】 令和4年度 主要事業等について 【資料5】 投資・財政計画ローリングについて 【補足資料】 公営企業会計の仕組み ・ 資料用語集</p> <p>以上、お手元にあるか。もし不足があればお知らせいただきたい。 なお、別途、黄色いフラットファイルを備え付けている。こちらには「みやざき水ビジョン2020」、「経営戦略」、「事業概要」をファイルしており必要な折にご参照いただきたい。</p> <p>それでは、宮崎市上下水道局長がごあいさつ申し上げます。</p>
上下水道局長	<p>審議会委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>まず、議題の1 施策評価については、昨年度も実施し様々なご意見をいただいた。その上で、より客観性が高まるように、また、評価する審議会委員の負担を軽減できるよう改善を行った。</p> <p>議題の2の令和5年度投資・財政計画ローリング結果については、令和4年度決算見込みを踏まえて令和11年度までの投資計画を盛り込んだ内容になっている。これにより令和11年度までの支出の財布の大きさが見えてきていると考えている。</p> <p>本日の議題は今後の審議会の議論に大きな意味を持つ。もしわからない項目があればご質問いただき、委員が共通した認識の下で議論を進めていただければと考えている。</p> <p>委員の皆様にはご負担をおかけすることになるが、ご協力をお願いします。</p>

事務局	<p>本日の審議会には、委員15名中、オンラインによる参加の1名を含む、11名の委員の皆様にご出席いただいている。</p> <p>宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第3項により、半数以上の委員が出席されているので、本会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>委員の皆様にあらかじめお知らせする。</p> <p>本審議会は原則公開することとしており、本日も報道関係等が傍聴している。</p> <p>また、会議の資料や議論された内容については、後日上下水道局のホームページに掲載し公開することになるので、ご承知おきいただきたい。</p> <p>それでは、会議に入らせていただく。</p> <p>宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項の規定に基づき会長に会議の進行をお願いする。</p>
会 長	<p>議事を始める前にあいさつさせていただく。</p> <p>前回、市長から『みやざき水ビジョン2020』及び『宮崎市上下水道局経営戦略』の改定について」と「適正な上下水道料金のあり方について」の諮問をいただいた。審議会のあった日の夕方のニュースでは会議内容の報道がされていた。上下水道料金はそれだけ高い関心事なのだと思わせて感じたところである。</p> <p>全国では、上下水道の老朽化した施設の事故や台風による断水等についての報道が頻繁にある中で、強固な災害に強い宮崎市の上下水道の構築と、そのための財政基盤の強化は非常に重要な課題である。</p> <p>本日は、水ビジョンや経営戦略に定めた上下水道局の事業の進捗状況や財政状況について評価するための、施策評価と投資・財政計画ローリングについて説明がある。</p> <p>特に、投資・財政計画ローリングは今後、適正な上下水道料金のあり方について議論する上で土台となる重要な事項となるので、事務局にはわかりやすい説明を求めた上で、委員の皆様は十分に理解して、今後の議論を深めていただきたい。</p> <p>最後に、本日の会議が実りあるものになるよう祈念して、あいさつとする。</p> <p>それでは審議を始める。</p> <p>まず、議事(1)「みやざき水ビジョン2020施策評価の実施について」事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>「みやざき水ビジョン2020施策評価について」説明(資料1～4)</p>

<p>会 長</p>	<p>ただいまの説明について質問はないか。</p> <p>水ビジョンの施策体系は将来像がⅠからⅤまであり、その下に実施方策がある。</p> <p>これについて、【資料3】の12ページ以降に上下水道局での内部評価ができあがっており【資料2】の2ページ目から抜き出しされている。</p> <p>施策評価調書に「上下水道事業経営審議会の意見（案）」が示されている。あくまで（案）なので、妥当かどうか確認していただくことになる。</p> <p>特に重要な事業については【資料4】に整理されている。これを参考にしながら（案）のとおりでいいのか検討し、【資料2】施策評価用紙にAからDの評価を行う。</p> <p>施策評価調書を全部チェックするのは大変なので特に重要なポイントを【資料4】の25ページから掲載している。</p> <p>数字で評価できる項目についてはそれを見て判断するとわかりやすいように整理されている。</p> <p>以前より簡素化されているがそれでも時間がかかる。わからないところはメールや電話で事務局に確認しながら評価を進めていただきたい。</p> <p>ここでもう一度、内部評価と外部評価を実施することの意義について事務局に説明していただきたい。</p>
<p>上下水道局長</p>	<p>水ビジョンにおいて事業の進捗を確認するためのPDCAサイクルのチェックにあたる部分が内部評価と外部評価である。</p> <p>水ビジョンに限らず最近の自治体の計画は必ず数値目標が定められており、PDCAサイクルで改善を進める考えがある。その「C」の部分でまず内部で評価する。内部評価だけでは甘い評価になる可能性があるため、第三者の皆様による外部評価が必要になっている。</p> <p>客観性を高めるため資料が多くなったことは反省しているところである。</p> <p>評価の客観性を高めながら、委員の皆様の負担を軽減するため評価の方法を絶えず改善していきたい。</p> <p>皆様による外部評価は重い意味がある。公平公正な評価をお願いしたい。</p> <p>市民は日頃水道局が何をしているのか知らないのではないか。蛇口をひねれば水が出て当たり前、汚水が流れて当たり前で、上下水道が市民生活に密着しすぎているためだと思う。</p> <p>下北方と富吉の浄水場でくみ上げて7～8時間後にきれいに浄水して各家庭に届けている。縁の下で職員が日夜努力している。外部評価は職員の励みにもなると考えている。</p> <p>委員の皆様にはご負担となるがよろしく願います。</p>

会 長	<p>9月20日までに外部評価をよろしく願います。</p> <p>本日欠席している委員に対しても事務局から丁寧な説明をお願いします。</p> <p>それでは議事（2）「令和5年度投資・財政計画ローリング結果について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「令和5年度投資・財政計画ローリング結果について」説明 (資料5・補足資料)</p>
審議会委員	<p>企業債残高が大きすぎると思う。上下水道あわせ1,000億円を超える企業債残高がある。それに対する金利負担は年間いくらぐらいあるのか。これがあまりにも大きく事業を圧迫しているようなら、企業債残高をいかに減らすかを考えていかないといけない。</p>
事務局	<p>令和3年度決算における支払利息は水道事業が4億5千万円、公共下水道事業が9億9千万円である。</p> <p>金利は以前と比べて低くなっている。</p>
上下水道局長	<p>説明したとおり借金が多い状況である。過去20年の企業債残高の推移を見ると、平成17年の合併では、旧町の未償還金を市が引き受けることになった。また平成17年は台風14号により富吉浄水場が水没し多大な災害復旧費用を要した。</p> <p>次に平成21年度に清武町と合併し、清武町の未償還金30億円を市が引き継いだ。その後、旧町域への送水管敷設や水道施設の投資を要した。</p> <p>合併前の町民1人当たりの借金を見ると、20万円を超える町もあった。その時の宮崎市は給水人口1人当たり7万2千円くらいだった。これが合併後に8万3千円くらいになったが、旧町にとっては持続可能な水道となり合併によるスケールメリットがあったと考えている。</p> <p>宮崎市の下水道普及率は91%である。宮崎県内の市町村平均は61%であり、全国平均は81%である。これは宮崎市が公共の福祉、公衆衛生の向上に先駆的に投資を進めてきた成果である。</p> <p>下水道は管路も大きく必然的に事業費が大きくなる。</p> <p>こういった過去の投資が積み上がっているとご理解いただきたい。</p> <p>なお、企業債残高は平成29年度をピークに下がってきている。これは起債残高を減らす目標を忠実に実行しているからであり、借りる金額より返す金額を大きくするプライマリーバランスを堅守すれば借金は少なくすることができる。</p>
審議会委員	<p>1,000億円強の借金に対して15億円くらいの金利負担、金利1.5%くらいになるが、借り換えをすとかできないのか。</p>

事務局	<p>上下水道局の借入は公共機関が実施する公的資金であり、借り換えを するとなると、元々から見込んでいた利息を含めて返すことが契約で定 められており、借り換えのメリットがない。</p> <p>以前は金利負担軽減策として国が借り換えを推進するため公的資金補 償免除繰上償還を一時期導入し、金利負担の削減を行った。</p>
会 長	<p>企業債を減らすためプライマリーバランスをとると重要な事業を後ろ に回すことになる。生目台送水管更新事業もかなり事業費が大きく、早 くしなければならぬが、企業債を減らしながら整備を進めるため非常 に難しい。</p> <p>また、想定外なのが近年の円安と材料費やエネルギー、特に電気代の 高騰は厳しい状況にある。</p> <p>資料では下水道の経営はうまくいっているように見えるが繰入金で補 てんしているだけなので、その状況がわかるグラフはできないか。</p>
上下水道 局長	<p>下水道の繰入金の状況については、次回準備する。</p> <p>近年の物価高騰の状況について日銀の消費者物価指数と国内企業物価 指数をみると、2000年を基準にして、鋳鉄管が2.1倍、厚中板が 2.9倍に値上がりしている。</p> <p>減価償却処理して次の投資のための内部留保ができるとはいえ、資材 が2倍3倍と高騰しては同じものを作るために2倍以上の経費がか かることは物価の推移を見ても明らかであり、ローリングに反映してい くことになる。</p>
会 長	<p>資料5の31ページに「○ 次回に考えられるケース」と「○ それぞ れのパターンに応じた検討事項」が示されている。いずれも検討しな ければならない項目である。</p> <p>市民からすると、できるだけ必要な事業は早く実施して欲しい、一方 で、事業費を見直して企業債を下げるようにして、料金は上げたくない、 と難しい調整になる。</p> <p>その中で、優先順位をどのように付けていくか、資料5では緊急性の 高い事業をあげているが、中には先送りしなければならない事業も出 てくる。どうしてもすぐに着工しなければインフラとして厳しいという事 業を事務局に提案してもらわないと審議会としても判断できない。</p> <p>優先順位を含めていくつかのパターンを事務局に示してもらいたい。</p> <p>全体を通して意見等ないか。なければ議事を終了する。</p>

事務局	<p>会長には、会議の進行について感謝申し上げます。</p> <p>最後に、事務局より事務連絡。</p> <p>次回の会議開催の日程は10月11日（水）14時の開催を予定している。別途文書にて案内するが、皆様方には、日程の調整をお願いする。</p> <p>それでは、以上で令和5年度第3回宮崎市上下水道事業経営審議会を終了する。</p>
	(閉会)